

まちだ市民大学HATS 法律・国際学講座

前期(くらしに生きる法律):4月~7月(中止) 後期(まちだ市民国際学):9月~12月、49名
火(金)曜日、午後6時~8時、全9回 [対象]どなたでも(応募多数の場合、市内在住、
前年度に受講されていない方を優先) [資料代] 3,000円 (2020年度の講座の様子)

法律講座

(くらしに生きる法律)


前期の法律講座が中止となったため、下記の特別講座を開催しました。

国際学講座

(まちだ市民国際学)

混迷を深める世界 ~変革が求められる私たち~

人の動きがつかないほどグローバル化している今日、世界は未曾有のコロナ禍に見舞われています。同時に、行動の自由が制限され世界中が大混乱している中でも、国際平和や気候変動などの問題は、取り組みの停滞を待つてくれません。この講座では、世界の動きを視ながら、混迷から抜け出す道を考えていきたいと思います。



「生活時間アフローチ」から考える
真の働き方・生き方改革

職場、家庭、地域と時間資源のあり方に関するパラダイムシフト

コロナ禍は働き方にも行動変容をもたらしました。労働時間はあるべき生活リズムから思考すべきとし、一〇一五年以来「生活コアタイム」などを提唱し活動し続ける坪山委員弁護士に、これからの働き方・生き方改革についてお話しいただきます。

講師 弁護士 坪山 由美子 氏

9月4日(金)午後6時~8時
(午後5時30分開場)★入場無料
生涯学習センター7階ホール

申込み 受付時間:9時~17時※8/24休館日
生涯学習センター6Fの窓口または、お電話
でお申込みください。(先着順・定員23名)
電話 **042-728-0071**
※定員にむらび次第、締切となります。

米国は何処に向かうのか

【公開】外国人から見た日本の将来

新型コロナウイルス問題以降の
中国の行方

ナレンドラ・モディ首相下のインド
~開発とヒन्दウ民族主義

ICANの活動から考える世界の平和

IT企業の成長と世界で拡大する
ギグエコノミーの働き方

パレスチナの現状と課題

ブレグジットとEUの行方

アマゾン森林破壊と気候変動
~わたしたちに何ができる?~



〔受講生の声〕

- ・米の大統領選が近いので、その話題を中心に話してくれたのはタイムリーでよかった。
- ・中国というのは大きすぎて掴みどころのない感じでしたが、断片的な情報を整理するのに非常に役立ちました。
- ・短い時間でインドの現政権の構造的問題を非常にコンパクトにわかりやすく説明していただいた。
- ・実際に活動している人故に、話しも具体的でとてもわかりやすかった。
- ・ウーバーイーツはコロナ禍でよく見かけられるようになったが、労働実態がわかり難かった。
- ・シリア、パレスチナ難民支援に取り組んでいる先生の話に感銘を受けた。
- ・ブレグジットの基本的な内容、問題が良く理解できました。
- ・地球全体を考えると、アマゾンのみどりは非常に重要だと思っていた。地球を守るためどうしたら良いのか、小さなことから考えてみたい。